取扱説明書

audio-technica®

赤外線コードレス バウンダリーマイクロホン

ATIR-T20
ATIR-T30

お買い上げありがとうございます。
本機は電波ノイズの影響が少ない赤外線を利用したコードレスマイクロホンシステムです。
ご使用の前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保存しておいてください。

特長

- ●電波を使わない赤外線伝送形式。隣接した部屋でも混信の心配はありません。
- ●同じ部屋で4台まで使用できるチャンネルを用意。
- ●1つのマイクロホンで2つのチャンネルを切り換え可能。
- ●高音質、高感度のコンデンサーマイクユニット搭載。
- ●専用充電池とアルカリ乾電池の併用方式。8時間連続使用。（専用充電池で出力切り換えMid時）
- ●常設時にはACアダプターによる使用も可能。

⚠ 注意

- ●分解しないでください。
- ●強い衝撃を与えないでください。
- ●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温やほこりの多い場所に置かないでください。
- ●湿度の高い場所に置かないでください。
また水がかからないようにしてください。
誤って水が入ると故障や火災の原因になります。
- ●同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。また火のそばに置かないでください。
- ●汚れたときは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 電池の注意

- ●長い間使わないときは電池を外しておいてください。乾電池を長時間連続使用された場合は早めに新しい電池と交換してください。
- ●電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は医者、病院などで処置を受けてください。
- ●液もれが起きた場合は、バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いた時は、水で洗い流してください。
- ●電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気づいたときは使わないでください。
- ●電池を分解、改造しないでください。

●乾電池を使用する場合はアルカリタイプをおすすめします。使用期限をご確認ください。
期限切れの場合、使えない場合があります。

ACアダプター（別売）の利用方法

① 電源**オフ**を確認します。
② バッテリーカバーを、天面のPUSH部を親指で押さえスライドさせて開きます。
③ ACアダプターをDCジャックに差し込みます。
④ ACアダプターのケーブルを挟まないように、バッテリーカバーのACアダプター用ケーブル穴からケーブルを引き出してください。

⚠ ACアダプター使用時の注意

- ●ACアダプターは、AD1205JA（JEITA規格RC5320A極性統一形プラグ）以外を使用しないでください。
- ●ACアダプターのケーブルを逃がし穴を使わずにバッテリーカバーと本体で挟み込んでしまうと、断線により発熱や火災の原因になることがあります。

故障かな？と思う前に

●電源が入らない

→ 電池が入っていますか？
→ 充電池は充電されていますか？
→ 電池の極性は正しいですか？

●音声が出ない

→ レシーバーの出力の切り換えは確かですか？
→ 接続した機器のボリュームを絞りきっていませんか？
→ レシーバー、受光ユニットは正しくセッティングされていますか？
→ ミュートスイッチが消灯していませんか？

●フル充電しても直ちに電池がなくなってしまう

→ メモリー効果を起こしている可能性があります。一度使い切ってからまた充電してください。

上記の操作をしても改善されない場合は、充電池の寿命（約750回充電が目安です）と思われます。
新しい充電池と交換してください。

テクニカルデータ

赤外線コードレスバウンダリーマイクロホン
ATIR-T20、ATIR-T30
（専用レシーバーATIR-R22、ATIR-R33、専用受光ユニットATIR-A40、専用充電器BC700使用時）

項目	仕様
型式	：バックエレクトレットコンデンサー型
指向性特性	：半球前方指向性
赤外線波長	：870±30nm
変調方式	：FM周波数変調
送波周波数	：**ATIR-T20** Aチャンネル：2.06MHz Bチャンネル：2.56MHz **ATIR-T30** Aチャンネル：3.2MHz Bチャンネル：3.7MHz
周波数特性	：50～12kHz
到達距離	：レシーバーミュート設定“広い” 約10m（Low時）、約15m（Mid時）、約20m（Hi時） レシーバーミュート設定“狭い” 約5m（Low時）、約7.5m（Mid時）、約10m（Hi時）
連続使用時間	：専用電池 12時間（Low時）、8時間（Mid時）、5時間（Hi時） アルカリ電池 10時間（Low時）、6時間（Mid時）、3時間（Hi時）
充電時間	：6.5時間
消費電流	：360mA（Hi時） 220mA（Mid時） 160mA（Low時）
電源	：電池 ニッケル水素充電池（本体に実装済み） または単三型アルカリ電池×2 ACアダプター（別売） AD1205JA（JEITA規格RC5320A極性統一形プラグ）
外観寸法	：H23×W120×D137.5mm
質量	：345g（付属の電池含む）

＜別売オプション＞

品名	価格
●ニッケル水素充電池（組電池）　RB3H	¥2,400.（税抜）
●充電器　BC700	¥20,000.（税抜）
●ACアダプター　AD1205JA	¥2,000.（税抜）

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

製品保証及び修理などにつきましてはお買いあげのお店、
または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

audio-technica®
株式会社オーディオテクニカ
特販部 プロオーディオ課
http://www.audio-technica.co.jp/proaudio

R100 環境保護、資源リサイクルのため
古紙配合率100%再生紙を使用しています。
1423010800
2005.7

各部の名称と機能

赤外線コードレスバウンダリーマイク　ATIR-T20, ATIR-T30

① バッテリーインジケーター（BATT）
通電時、点灯します。電池がなくなってくると点滅しますので電池を充電、または交換してください。

② 電源スイッチ
オンにすると電源が入り、オフにすると切れます。

③ バッテリーカバー

④ 出力切り換えスイッチ
赤外線出力を切り換えるスイッチです。H=Hi、M=Mid、L=Low（工場出荷時はMidに設定）

赤外線の到達距離は下図参照。

⑤ DCジャック
ACアダプター（別売）の二次側プラグを差し込みます。

⑥ 電池挿入部
当社専用の充電池(付属)、または単三形アルカリ乾電池を入れます。

⑦ 発光部
この部分により、赤外線を送信します。手などで覆わないでください。

⑧ ミュートスイッチ
電源をオンにすると緑に点灯し収音します。押すと消灯し音声ミュートがかかります。
電池がなくなってくるとバッテリーインジケーターに連動して点滅します。

⑨ 充電端子
専用の充電器(BC700)で充電する時に使用します。

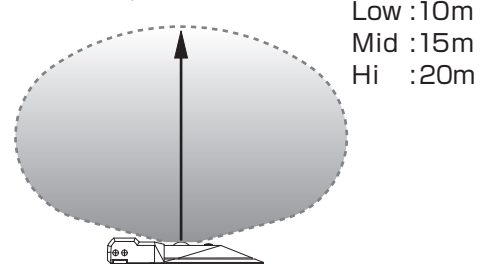
⑩ チャンネル切り換えスイッチ
AチャンネルとBチャンネルを切り換えるスイッチです。
(工場出荷時はAchに設定)

⑪ マイクロホン
この部分にマイクユニットが内蔵されています。資料などで覆わないで下さい。

⑫ ACアダプター用ケーブル穴
ACアダプター使用時にアダプターのケーブルを通します。

赤外線の送信範囲
（レシーバー設定 "広い" 時）

Low :10m
Mid :15m
Hi　:20m

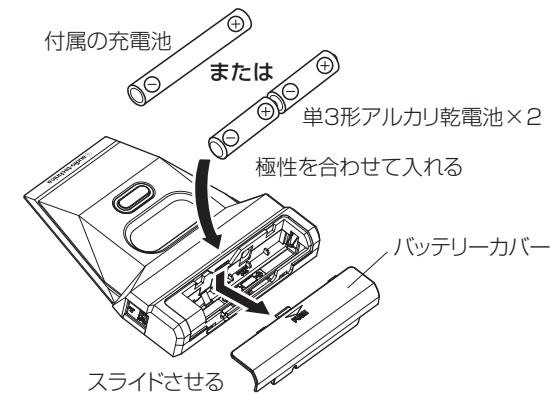
Low :10m
Mid :15m
Hi　:20m

注意： 赤外線の発光部は、手や物で覆わないでください。

電池の入れかた

① 電源**オフ**を確認します。

② バッテリーカバーを、天面のPUSH部を親指で押さえスライドさせて開きます。

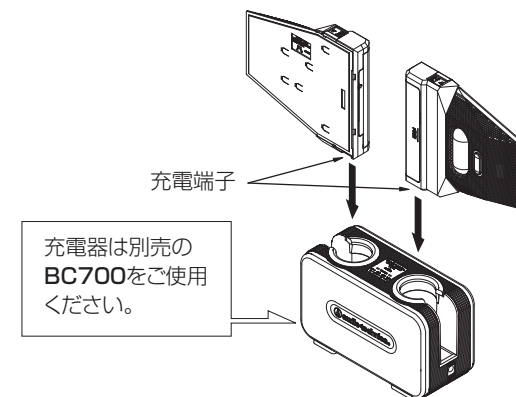
③ 付属の充電池、または単3形アルカリ乾電池をバッテリーケース内の極性に合わせて入れます。

④ バッテリーカバーを取り付けて完了です。

⚠ 充電池取扱いの注意

- 充電池に貼ってあるビニールカバーを剥がさないでください。ショートして電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因になることがあります。
- この電池はATIR-T20/ATIR-T30、ATIR-T25（別売）、ATIR-T22/A,B（別売）、ATIR-T33/A,B（別売）専用です。他の用途に使用しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 使用温度範囲
  - 放電（機器使用時）　：0℃～+40℃
  - 保存　：−20℃～+40℃
  - 充電　：+5℃～+40℃
- 初めて使用の場合に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは使用しないでください。
- 電池を寒い戸外（+5℃以下）や、冷えたまま（+5℃以下）で充電しないでください。

使いかた

＊接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

① マイクロホン（充電池）を充電します。

② レシーバーの電源を入れ、電源インジケーター（POWER）の点灯（レッド）を確認します。

③ マイクロホンのチャンネル切り換えスイッチをAch、またはBchに設定します。

④ マイクロホンの出力切り換えスイッチをLow（10m以内）、Mid（15m以内）またはHi（20m以内）に設定します。
（括弧内の到着距離はレシーバーのミュート設定 "広い" 時。到達距離は室内の状況によっても変化します。）

⑤ マイクロホンの電源スイッチ（POWER）をONにし、バッテリーインジケーター（BATT）の点灯を確認します。（点滅した場合は電池を充電、または交換してください。）

※音量はお手持ちの機器、または別売レシーバー（ATIR-R22、ATIR-R33）のボリュームで調整します。

使用上の注意

- 赤外線発光部は手や衣類などで覆わないでください。
- 赤外光の到達距離は壁、天井や床などの色や材質によっても変わります。
- 到達距離とは無関係にノイズが発生することがあります。その場合は、別売の受光ユニットを適切な位置に取り付け直してください。
- レシーバーは当社ATIR-R22（ATIR-T20使用時）、ATIR-R33（ATIR-T30）をご使用ください。
- プラズマディスプレイ、同時通訳システムなど赤外線を使用した機器とは、同時使用出来ない場合があります。

注意

ご購入直後の1回目の充電、及びマイク本体のパワースイッチをONにしたままで長時間放置され過放電になっている場合は、1回の充電で十分に充電されない場合があります。その場合は、2、3度充電を繰り返してください。
また、過放電の状態によっては電池をいため使用不能になる場合もありますので、マイクロホン本体の電源スイッチを入れたまま放置しないでください。